

(4) 福祉施設

1) 高齢者支援施設

① 概 要

本市には、高齢者支援施設として、多世代交流センター等が6か所、デイサービスセンターが4か所、その他高齢者支援施設が1か所あります。

多世代交流センターは、高齢者の健康の増進や子ども世代との交流など、生きがいの充実や仲間の輪を広げる場であり、会議室、和室、娯楽談話室などがあります。また、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきは、趣味を通じた仲間づくりや、社会参加や社会貢献に意欲のある高齢者の支援を行っています。いずれの施設も指定管理者制度を導入しています。

多世代交流センターと高齢者活動支援センターは、いずれも、高齢者施策の再構築に伴う旧老人福祉センターの機能見直しにより、平成27年4月から運営を開始しています。

デイサービスセンターは、在宅の寝たきり高齢者などについて、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練等を行い、生活の助長、健康の保持等を図ることを目的としている施設であり、いずれの施設も指定管理者制度を導入しています。

その他高齢者福祉施設であるシルバーワークプラザでは、公益社団法人茨木市シルバー人材センターにより、健康で働く意欲を持った高齢者が、経験と技能を生かした活力ある地域社会づくりに参加するための支援などを行っています。

平成以降に建築された建物が多いものの、福井多世代交流センターと高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきの2施設は、平成29年末現在、築35年以上が経過しています。

表 3-2-8 高齢者支援施設の概要

No.	施設名	所在地	複合 区分	運営 形態	延床 面積 (㎡)	主要な建物の情報（H29年末現在）			
						建築年	経過 年数	構造・ 階数	耐震性
多世代交流センター等									
1	福井多世代交流センター	東福井二丁目23番22号	単独	指定管理	702	S48	44	RC・1	○
2	西河原多世代交流センター	西河原二丁目17番４号	単独	指定管理	869	H1	28	RC・2	○
3	葦原多世代交流センター	新和町21番27号	複合	指定管理	999	H6	23	RC・2	○
4	沢池多世代交流センター	南春日丘五丁目１番８号	複合	指定管理	1,094	H9	20	RC・2	○
5	南茨木多世代交流センター	東奈良三丁目16番14号	複合	指定管理	1,090	H16	13	RC・1	○
6	高齢者活動支援センター シニアプラザいばらき	桑田町24番21号	単独	指定管理	845	S54	38	RC・1	○
デイサービスセンター									
1	葦原老人デイサービスセンター	新和町21番27号	複合	指定管理	694	H6	23	RC・2	○
2	沢池老人デイサービスセンター	南春日丘五丁目１番８号	複合	指定管理	602	H9	20	RC・2	○
3	西河原老人デイサービスセンター	西河原二丁目17番４号	単独	指定管理	685	H10	19	RC・1	○
4	南茨木老人デイサービスセンター	東奈良三丁目16番14号	複合	指定管理	755	H16	13	RC・1	○
その他高齢者支援施設									
1	シルバーワークプラザ	東奈良一丁目４番１号	単独	※	700	H5	24	S・2	○

※シルバーワークプラザは公益社団法人茨木市シルバー人材センターが使用

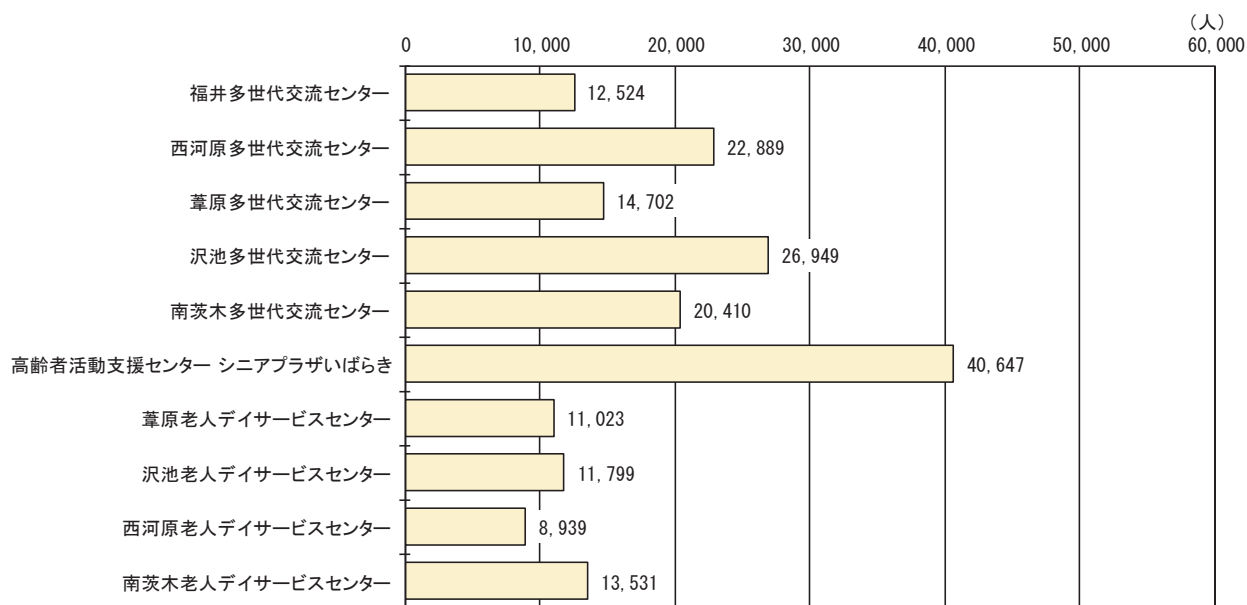
② 施設位置図



③ 利用の状況

平成 28 年度の利用者数を見ると、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきで約 4 万 1 千人、沢池多世代交流センターで約 2 万 7 千人などとなっています。

貸室の稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）をみると、おおむね 2 割となっています。



※シルバーワークプラザはシルバー人材センターの事務所等が主用途であることから除外

図 3-2-51 施設の利用者数（H28 年度）

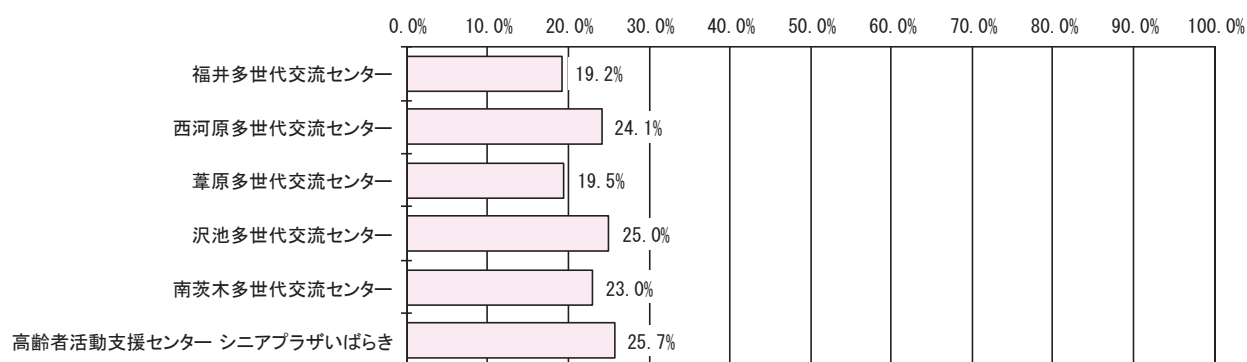


図 3-2-52 貸室の稼働率（H28 年度）

④ 施設に関する総コストの状況

平成 28 年度の施設に関する総コストをみると、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきで約 3 千万円となっています。指定管理者制度を導入している施設では指定管理料の占める割合が高くなっており、デイサービスセンターは、施設の管理運営に係る経費を指定管理者の利用料金収入で賄うことを基本としています。

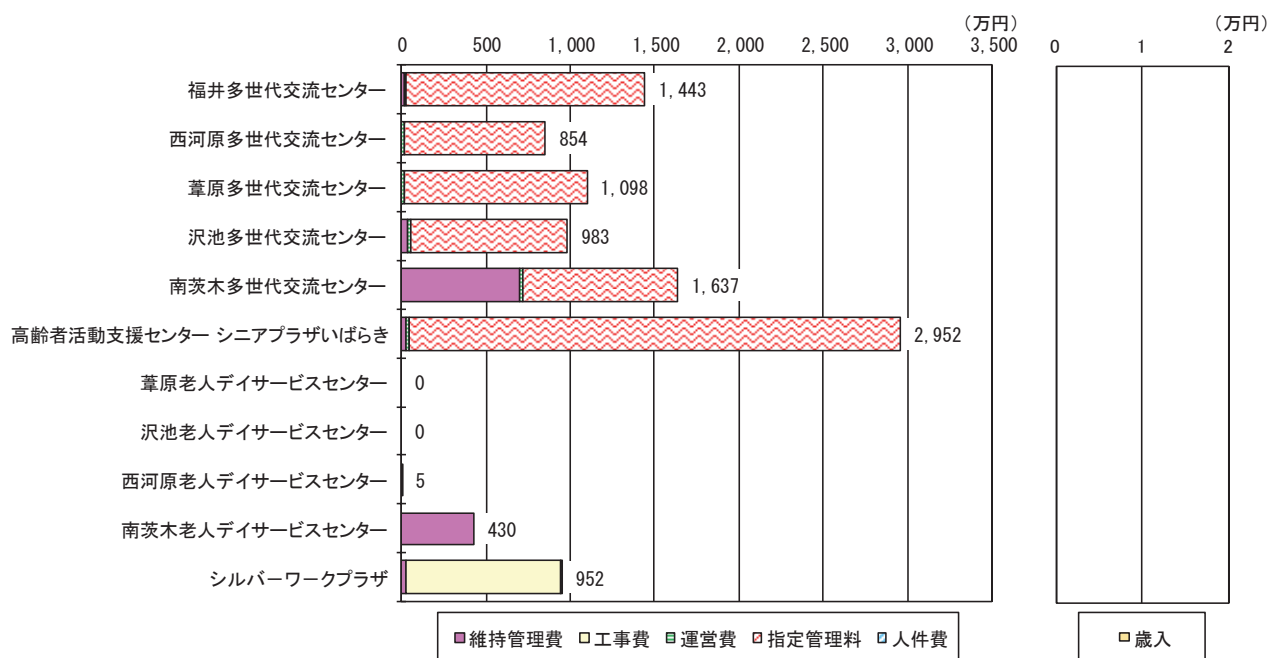


図 3-2-53 施設に関する費用と内訳 (H28 年度)

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積 1 m²あたりで比較すると、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきで約 3 万 5 千円、福井多世代交流センターで約 2 万 1 千円などとなっています。

また、利用者 1 人あたりで比較すると、福井多世代交流センターが約 1,200 円となっています。

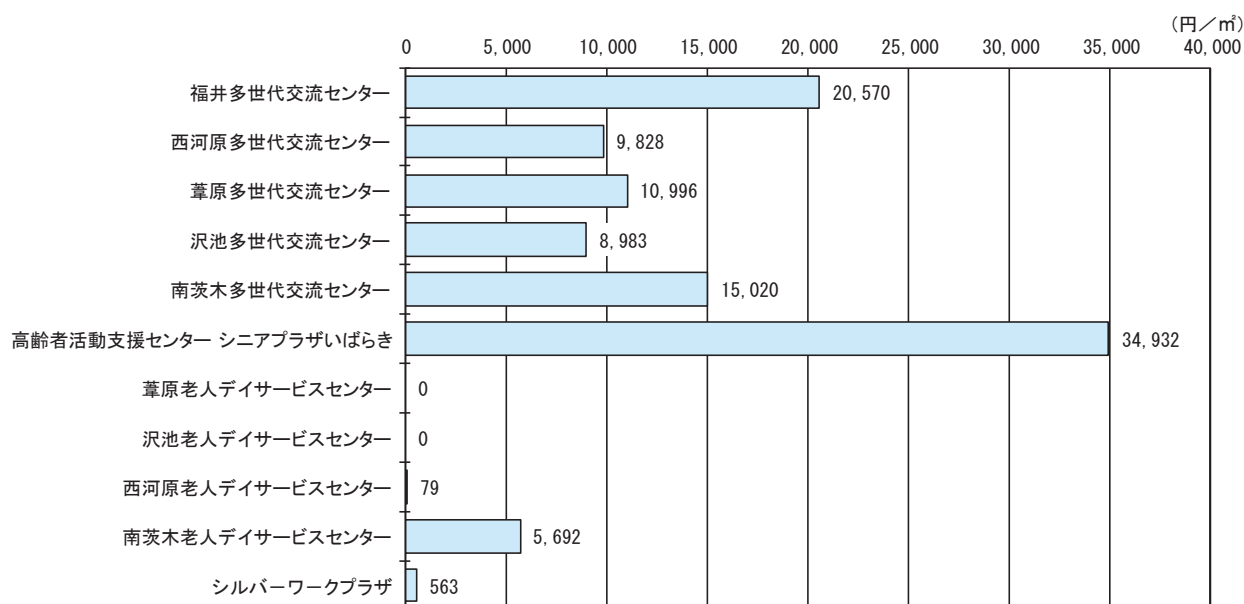


図 3-2-54 延床面積 1 m²あたりの市負担コスト（H28 年度）

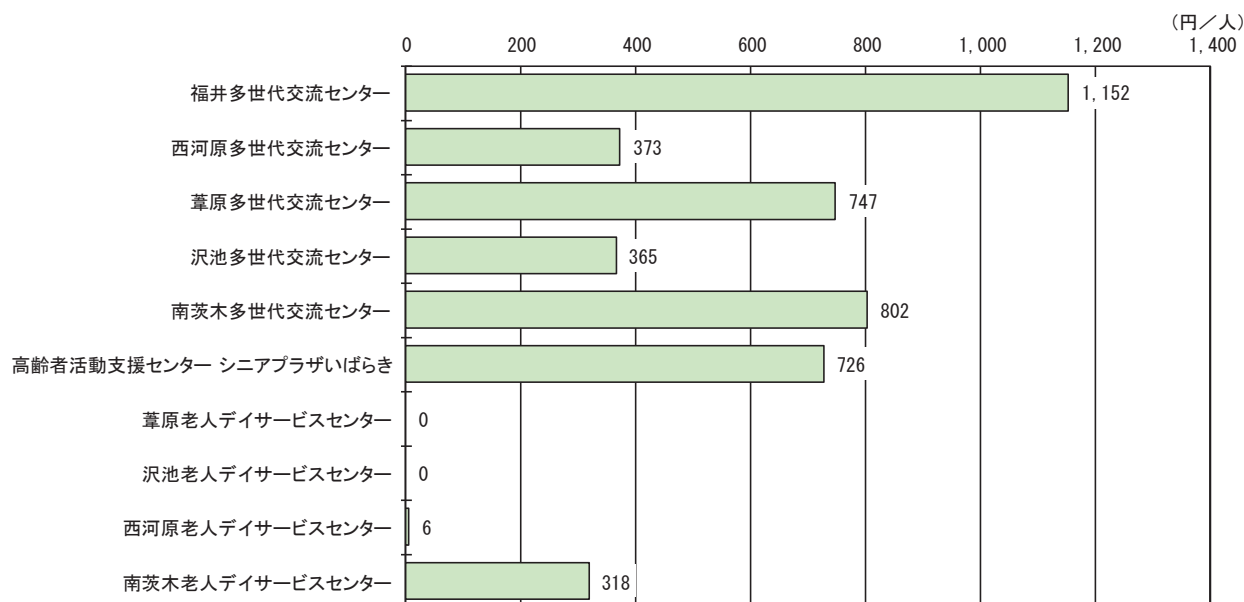


図 3-2-55 利用者 1 人あたりの市負担コスト（H28 年度）

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m²あたりの利用者数をみると、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきで約 48 人となっています。

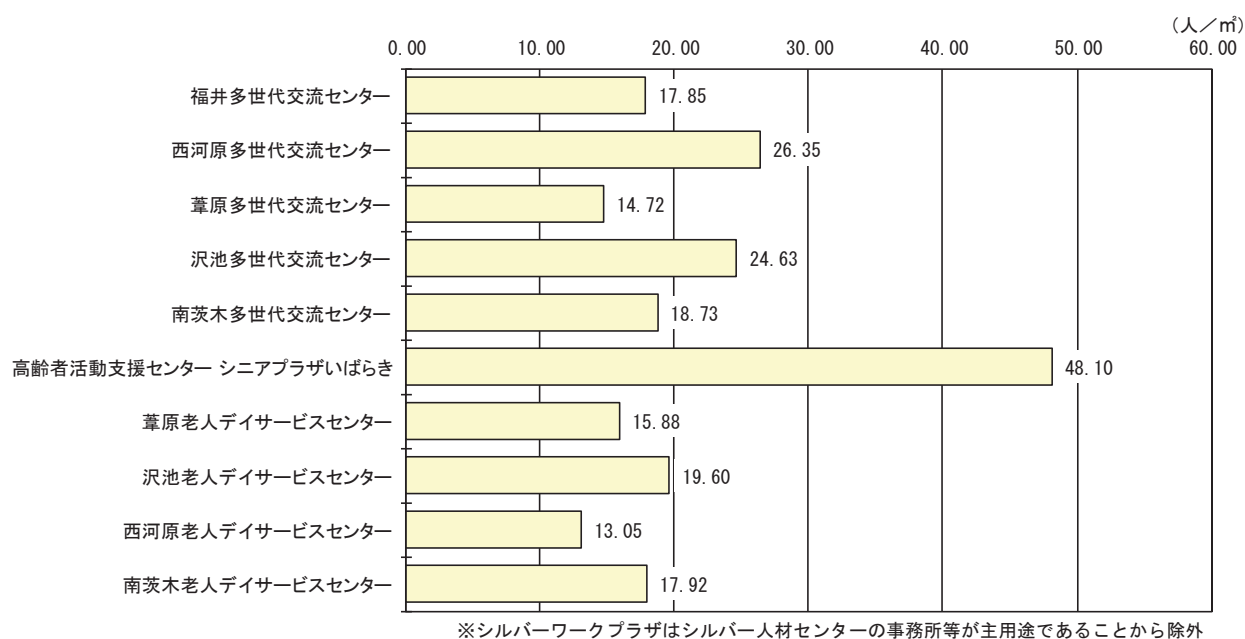


図 3-2-56 延床面積 1 m²あたりの利用者数 (H28 年度)

⑦ 今後の課題等

- ・多世代交流センターと高齢者活動支援センターは、旧老人福祉センターの機能の再構築により、平成 27 年度から運営を開始しました。施設の設置目的を果たすため、今後も新たな対象である子どもや子育て世代の利用や多世代交流の促進に努める必要があります。
- ・多世代交流センターと高齢者活動支援センターの貸室は、条例において利用者が限定されていますが、施設の設置目的や地域のニーズ等を踏まえ、適切な利用対象者の範囲設定について検討する必要があります。
- ・デイサービスセンターは、開設当時と比較して、同様のサービスを提供する民間事業所が増加しており、市としての施設保有の必要性を検討する必要があります。

2) 障害福祉施設

① 概 要

本市には、障害福祉施設が3か所あります。

障害福祉センターハートフルでは、障害者やその家族の様々なニーズに対応する施設として、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の支援や創作的活動の機会の提供、理学療法士による機能訓練や社会適応訓練、機械・介護入浴サービス、障害者が気軽に参加できる、様々な講座の実施など、在宅障害者への支援を行っています。

障害者就労支援センターかしの木園では、利用者が自立した日常生活、社会生活を送れるように就労の機会の提供や生活の擬似空間での体験を基に利用者の生活基盤を整え、就労意欲の向上を図るための自立訓練等を行っています。

障害者生活支援センターともしび園では、身体能力、日常生活能力の維持、向上を目的に、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の支援や創作的活動の機会の提供、機能訓練などのほか、障害者の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や一時的な休息のために、日中における見守り等を行っています。

いずれの施設も平成25年度から指定管理者制度を導入しています。

表 3-2-9 障害福祉施設の概要

No.	施設名	所在地	複合 区分	運営 形態	延床 面積 (㎡)	主要な建物の情報（H29年末現在）			
						建築年	経過 年数	構造・ 階数	耐震性
障害福祉施設									
1	障害福祉センター ハートフル	片桐町 4 番26号	複合	指定管理	4,001	H8	21	RC・4	○
2	障害者就労支援センター かしの木園	春日一丁目15番22号	単独	指定管理	1,162	S57	35	RC・4	○
3	障害者生活支援センター ともしび園	西穂積町 8 番 2 号	単独	指定管理	1,992	S63	29	RC・2	○



障害福祉センターハートフル



障害者生活支援センターともしび園

② 施設位置図



図 3-2-57 対象施設位置図（障害福祉施設）

③ 利用の状況

平成 28 年度の各事業の延べ利用者数をみると、障害福祉センターハートフルで約 8 千人、障害者就労支援センターかしの木園で約 4 千人、障害者生活支援センターともしび園で約 7 千人となっています。

また、障害福祉センターハートフルの貸室の稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）は約 37%となっています。

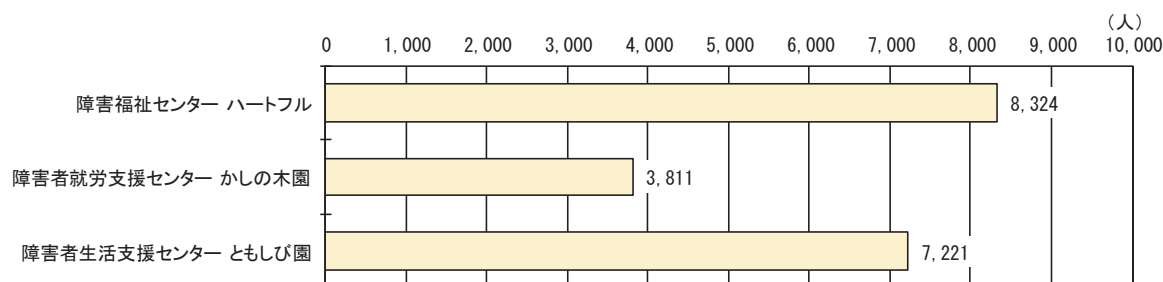


図 3-2-58 施設の利用状況 (H28 年度)

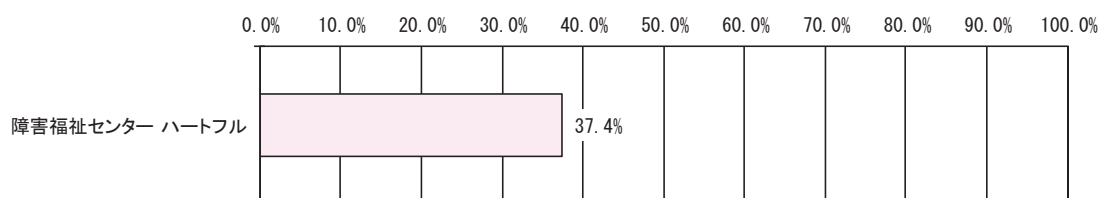


図 3-2-59 貸室の稼働率 (H28 年度)

④ 施設に関する総コストの状況

平成 28 年度の施設に関する総コストをみると、障害福祉センターハートフルで約 1 億 4 千万円、障害者生活支援センターともしび園で約 1 億 1 千万円となっています。

いずれの施設も指定管理者制度を導入しており、指定管理料が大部分を占めています。

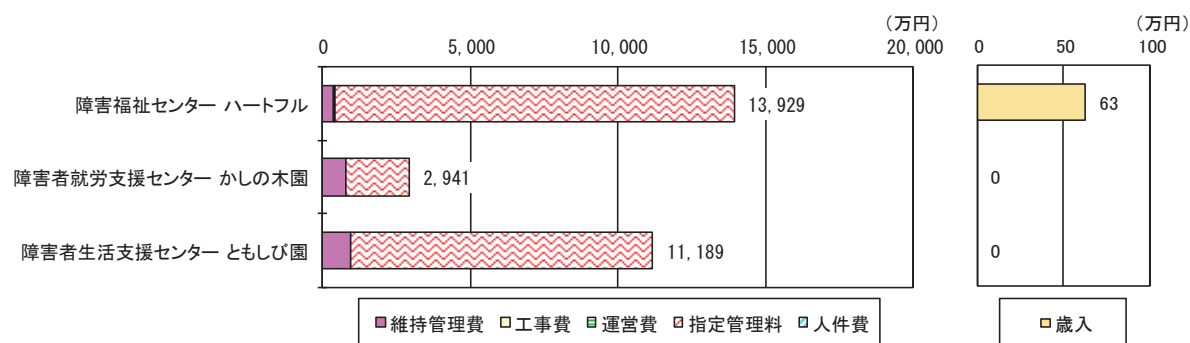


図 3-2-60 施設に関する費用と内訳 (H28 年度)

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積 1 m²あたりで比較すると、障害者生活支援センターともしび園が約 5 万 6 千円と最も高くなっています。また、利用者 1 人あたりで比較すると、障害福祉センターハートフルが約 1 万 7 千円となっています。

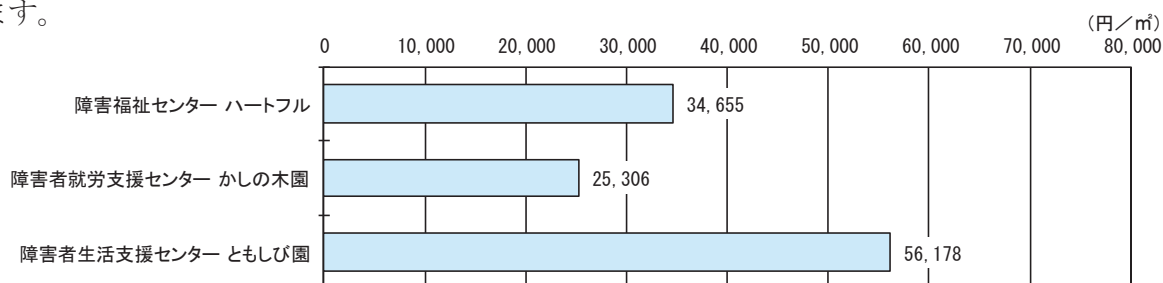


図 3-2-61 延床面積 1 m²あたりの市負担コスト（H28 年度）

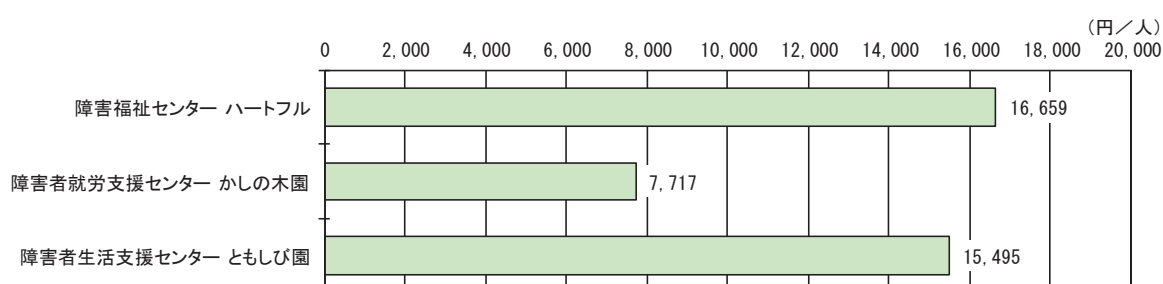


図 3-2-62 利用者 1 人あたりの市負担コスト（H28 年度）

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m²あたりの利用者数をみると、障害福祉センターハートフルが約 2 人、障害者就労支援センターかしの木園が約 3 人、障害者生活支援センターともしび園が約 4 人となっています。

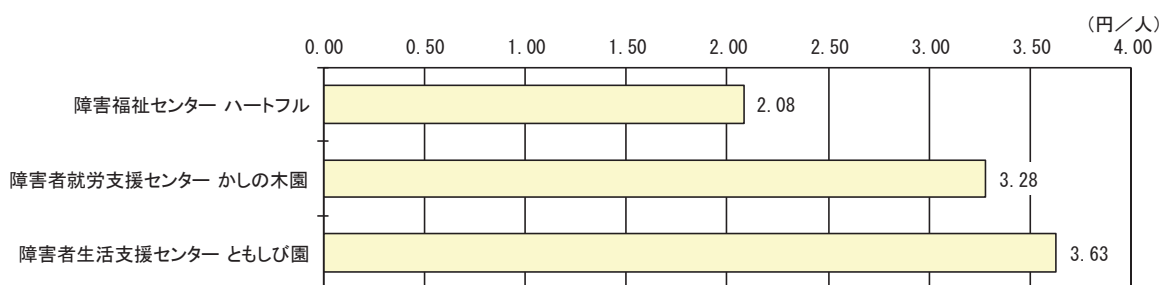


図 3-2-63 延床面積 1 m²あたりの利用者数（H28 年度）

⑦ 今後の課題等

- ・障害福祉センターハートフルにおける、障害のある人もない人も交流により障害に対する理解を深めるための役割について、今後、検討する必要があります。
- ・運営面では、いずれの施設も平成 25 年度から指定管理者制度を導入しており、その効果を検証していくことが求められます。

3) 保健医療施設

① 概 要

本市には、保健医療施設として、保健医療センターがあります。

保健医療センターでは、指定管理者制度を導入し、成人向けの健診（若年健康診査、特定健診等）やがん検診、健康相談、健康づくり教室のほか、食育や高齢者の介護予防事業等を実施しています。

また、夜間・休日における内科及び休日（日曜日、祝日のみ）の歯科にかかる応急診断を行うため、附属急病診療所を設けています。

表 3-2-10 保健医療施設の概要

No.	施設名	所在地	複合 区分	運営 形態	延床 面積 (㎡)	主要な建物の情報（H29年末現在）			
						建築年	経過 年数	構造・ 階数	耐震性
保健医療センター									
1	保健医療センター	春日三丁目13番5号	単独	指定管理	5,104	S52	40	RC・3	○



保健医療センター



保健医療センター
附属急病診療所

② 施設位置図



図 3-2-64 対象施設位置図（保健医療施設）

③ 利用の状況

附属急病診療所の利用者数の推移をみると、年度によってバラつきはあるものの、平成 22 年度ごろまでは増加傾向がみられますが、その後は減少しています。平成 25 年度から高槻島本夜間休日応急診療所において、医療資源の集中投資による広域的な小児初期救急を開始したことに伴い、平成 25 年度末をもって急病診療所での小児科診療を廃止したことから、平成 26 年度以降、利用者数が大きく減少しています。

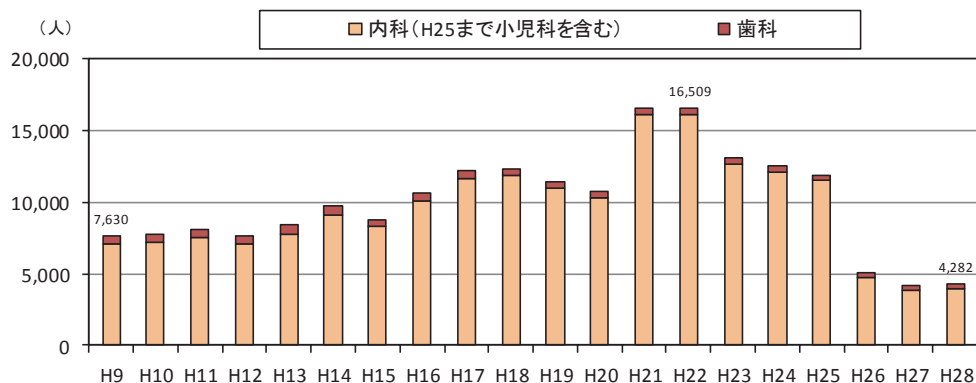


図 3-2-65 急病診療所利用人数の推移

④ 施設に関する総コストの状況

平成 28 年度の施設に関する総コストをみると、約 2 億 2 千万円となっており、指定管理者制度を導入していることから、指定管理料が過半を占めています。

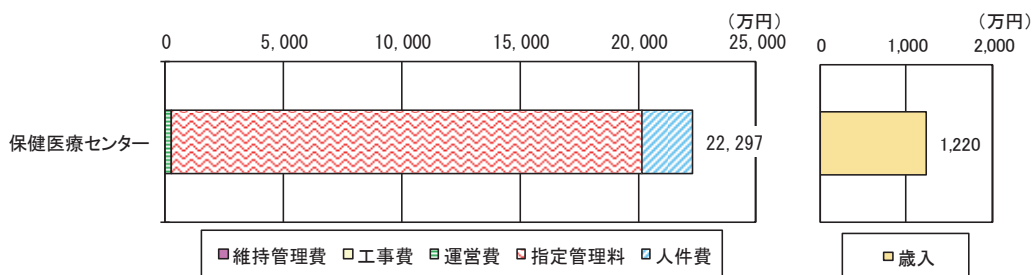


図 3-2-66 施設に関する費用と内訳 (H28 年度)

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積 1 m²あたりでみると、約 4 万 1 千円となっています。

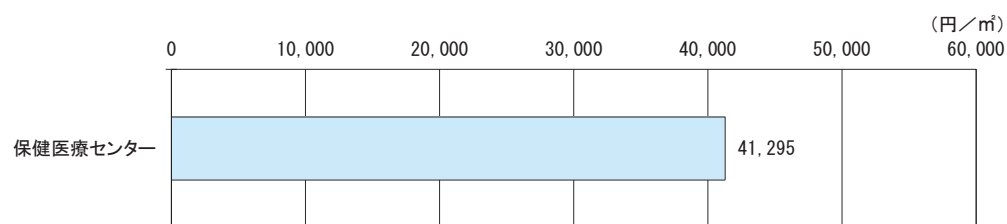


図 3-2-67 延床面積 1 m²あたりの市負担コスト（H28 年度）

⑥ 今後の課題等

- ・ 建築後 40 年が経過し、老朽化が着実に進行しているため、長期的な活用を見据えた適切な保全が求められます。